

所沢市立美原中学校



令和6年度 第1号

4月10日(水)



学校だより No1

学校教育目標

- ・進んで学ぶ生徒(知)
- ・心豊かな生徒(徳)
- ・たくましい生徒(体)

桜前線ぴったり。令和6年度がはじまりました！

爛漫と咲き、いさぎよく散る桜は、日本人の心の故郷とまで言われます。

故郷の野山を淡い紅色に染め春の訪れを告げる桜前線が美原中学校にも訪れました。(右の写真は、当日の桜です。➡)

その様な中、第50回 所沢市立美原中学校 入学式が、ここに多くのご来賓にご参列を賜り、挙行できますこと深く御礼申し上げます。【途中略】

さて、214名の新入生の皆さん、ようこそ美原中学校へ！

皆さんの入学を心よりお祝いいたします。皆さんは、開校50周

年の美原中学校においても記念すべき新入生となります。美原中学校のこれまでの伝統を受け継ぐとともに、新たなる美原中学校の礎となる皆さんです。正にこの一年間をしっかりと取り組んでいきましょう。期待しています。

【略】この式に参加できない上級生は、金曜日の準備登校の日に、体育館内の会場の準備をはじめ、校舎内外の環境整備など一つ一つの仕事を分担し、皆さんの入学を心待ちにしている気持ちを込めて行いました。人のために働くことができることが豊かな人生を歩むために大切だと知る事、これからの未来を担う人材を育成する美原中学校の引き継ぐべき伝統です。在校生も、皆さんの入学を心待ちにしていました。

さて、中学校では、まず、新しい出会いをたくさん経験してください。新しい出会いの最初は、自分との出会いです。この入学を機に小学校では、見せなかった自分の取り組みを見つけるなど、新しい自分を見つけるためにスタートする自分との出会いです。【略】そのような時、単純に周りの人と比べ、安易に優劣をつけず、一生に一度きりの人生を悔いなく生きるために、失敗を恐れず、チャレンジを繰り返してください。そして、何より重要なのは、そのチャレンジしている者の失敗を前進への一歩と捉える仲間が存在することです。チャレンジャーを認められる集団作りをしましょう。中学校の3年間で一人一人が、このような取り組みの積み重ねがあれば、きっと、大きな成長の実感があります。

中学校生活のスタートにあたり、不安を感じている人も多くいるはずですが、いくつかの小学校から集まった皆さんですが、今日からその不安を同じように抱え、共に協力して乗り越える経験をする同級生です。中学生は、大きく変化・成長するので、同じ人間でも小学校の時とは違う、成長する仲間となります。ですから新たな出会いがたくさんあります。以前の認識にとらわれず、新たなに挑戦している仲間を尊重してください。

行事・委員会活動・部活動など様々な活動を通じて、先に中学校生活を重ねている先輩とともに学ぶ、出会いがあります。【略】両者が尊重と感謝を持ち、先輩のあるべき姿を身近に見て、良い経験を重ねてくだ



さい。先輩たちも学びの途中ですが、中学校の経験値があります、皆さんがそれを尊重し、感謝の気持ちで受け取れば、信頼関係が生まれよい関係をつくる体験ができるでしょう。楽しみにしています。

最後に、私は、必ず美原中学校がスタートする時に、教育哲学者 森 信三先生による他人との「出逢いの真理」を皆さんにお伝えしています。(右の写真スノーフレークの花言葉は、けがれなき心➡)



「人間は、一生のうち、 逢うべき人には、必ず逢える。
しかも一瞬早すぎず、 一瞬遅すぎない時に」

私は、これを、「出逢い」の真理であると、美原中学校の生徒に伝えています。内に秘められた、一見、偶然と見られる事も、すべて必然、自分にとって逢うべき人であるということです。気の合う人との出逢いも、そうでない人との出逢いでも、その「出逢い」のなかで、自分が学ばなければならないものが、必ずそこにあります。失敗しても心折れることなく、何度でも何度でも立ち上がり挑んでいく力を養うチャンスだと捉えるのが「出逢い」の正しい捉え方だということです。「多くの出逢い」を大切にしてください。

今日から皆さんは、「本気笑顔の体験できる美原中学校」の仲間です。私は、皆さんとの素晴らしい「出逢い」を大歓迎します。

最後に、保護者の皆様にお伝えします。【略】ご存じの通り、中学校の三年間は、多様な価値観の中に身を置くことが多くなります。【略】その葛藤の中には、中学生ならでのものや、その中にこそ、心身ともに大きく成長し、心豊かなたくましく生きる大人になるためのヒントがあることもあります。【略】急成長する子ども達と共に、保護者の皆様におかれましても、小学校の時とは違う悩みや心配に葛藤することが必ずあります。そんな時、保護者皆様と学校が子どもの真の成長を願うベクトルを共有し、「尊重」と「感謝」の関係から生まれる「信頼」をもとに連携することが何より有効と考えます。

美原中学校の考え方の根幹は、「はじめに子どもありき」の考え方です。それは、どの子どもでも「よくなりたい、学びたい」と願いがあるという考え方です。【略】今後の美原中学校へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。 令和6年4月8日 入学式 式辞より

美原中の伝統とは！ 始業式辞より

入学する新入生のために皆さんが準備してくれたことは、しっかり伝え、上級生になるにつれて、自分たちが使わない、この体育館であったとしても環境を整え、準備できる心豊かな上級生が美原中学校の伝統なんだと必ず伝えたいと思います。(経験あるものがない者を支えること)

皆さんは、入学式に参加することは、かないませんが、「一隅を照らす」の言葉の通り、自分の持てる力を発揮して、一隅を照らす行いをしたことになります。それこそ美原中学校の入学する新入生に立派に気持ちを伝える手立てです。このような人のことを、この言葉を広めた天台宗の開祖、最澄は、「国宝」と例えています。人のために生きることは、自らの喜びになり、自分の人生を幸せに生きる礎である、この伝統を入学式で先輩たちにも、しっかりとお話しておきます。

新しい生活のスタートには、期待と同時に不安を感じている人が多くいるはずですが。そのような時、私は、こう思うようにしています。「疲れた」は、頑張った証拠。「失敗した」は、挑戦した証拠。「緊張する」は、本気の証拠。「笑える」は、楽しんでいる証拠だと。

これからの一年間、「本気笑顔」を求め、更に新しい自分との出逢いを求め続けてほしいと思います。

【お知らせ】教職員の人事異動につきましては、美原中 HP に4月10日より4月19日の間、掲載させていただきます。そちらをご覧くださいますようお願いいたします。



桃の花の花言葉：気立ての良い他